



平成26年2月13日

各位

上場会社名 日本橋梁株式会社  
 代表者 代表取締役社長 井岡 隆雄  
 (コード番号 5912)  
 問合せ先責任者 執行役員管理室長 渡辺 昭二  
 (TEL 03-5859-5621)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成25年11月13日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」の業績予想数値から、平成26年3月期の通期業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

### ● 業績予想の修正について

平成26年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	40,000	1,000	900	1,900	7.76
今回修正予想(B)	42,000	1,200	1,200	2,050	8.37
増減額(B-A)	2,000	200	300	150	
増減率(%)	5.0	20.0	33.3	7.9	
(ご参考)前期実績 (平成25年3月期)	39,638	1,011	927	442	1.81

平成26年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	5,500	△300	20	0.08
今回修正予想(B)	5,300	△530	△120	△0.49
増減額(B-A)	△200	△230	△140	
増減率(%)	△3.6	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成25年3月期)	6,593	42	△138	△0.57

修正の理由

通期連結業績の見直しは、当第3四半期連結累計期間の結果を踏まえ、売上高につきましては既存工事が順調に進捗し、前回修正予想を上回る見込みとなりました。利益面につきましては既存工事の設計変更による利益率の向上を見込んだため、前回修正予想を上回る見込みとなりました。

通期個別業績の見直しは、売上高につきましては、一部の工事において工期延伸による進捗率の低下が発生し、前回予想を下回る見込みとなりました。経常利益につきましては、売上の減少によるものや、一部の工事において大きく採算が悪化し、前回予想を更に下回る見込みとなりました。当期純利益に関しては、固定資産の売却益が401百万円あり、△120百万円を見込んでおります。

なお、来年度から連結納税制度の適用開始を予定し準備しております。同制度による税効果会計の影響額(連結・個別共)に関しましては、現状の試算では、将来の課税所得の充分性による判断により、繰延税金資産の計上が、240百万円程度から650百万円程度となる可能性がある一方、会計監査人の監査未了のため、繰延税金資産を計上できない可能性もあります。このため、業績予想数値の当期純利益の増加額が「上場規程第405条(予想値の修正等)」(今回修正予想数値の30%に相当する額以上)に該当する可能性がありますが、現在のところ影響額を明確に見通すことが困難な状況であり、本業績予想の修正数値には織り込んでおりません。今後、業績予想の修正が必要になり次第、速やかに開示いたします。

※上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上